

「日々の理科」(第1097号) 2017 (H29)-7,-8
水彩画教室「アイボリー色の家」
お茶の水女子大学附属小学校 田中 千尋

この家の壁は 言葉では何とも表現しにくい色です レモン・イエローでもなく ベージュでもクリーム色でもないのです 絵具の見本帳を見たら「アイボリー」というのがあって ああ これがぴったりだと思いました しかし私は2号チューブすら持っていないので ジョン・ブリアン(肌色)にグレイ・オブ・グレイ(鼠色)を混ぜて塗りました ああ これでぴったりだと もう一度思いました



これが完成した絵です



1、この窓が貴重な存在 この建物にこの窓がなかったら 実につまらない絵になったでしょう



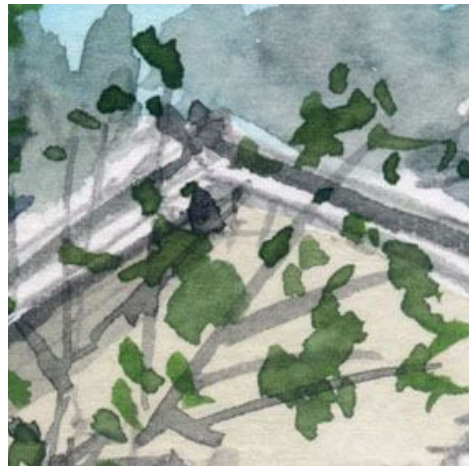
2、この白い玄関扉が貴重な存在 これがなかったら たぶん この建物を描く気にはならなかったでしょう



3、この階段が面白い これがなかったら 実に単調な構図になっていたでしょう



4、屋根の色がよくわからなかった こういう屋根の瓦は使わないでほしい と言いたところだが これで合っていると思います



5、建物の手前の梅の樹は 実に邪魔で描く上でも厄介 しかしこの樹がなかったら 下らない絵になったでしょう



6、このお化けでも出そうな「暗闇」が アイボリーの壁の明るさを引き立てていることに描きながら やっと気付きました